



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2014年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈りに参加
5. 聖書研究・家庭集会への参加
6. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 ユービー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 宰 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫

◎石叫■

「夢への一歩」

先日この欄で「本当の夢」というタイトルのアフリカの子どもの話をしたが、今回はフィリップだ。『飢餓対策ニュース』二〇一四年9月号より。

『私たちの長男の一寸の誕生日と一緒に祝って欲しい』と2年前、訪問したフィリップ・ミンドロ島の村で言われました。私たちが港から村まで送り届けてくれたジープブニー(村の名)のドライバーが、彼の息子のバースデー・パーティーに招待してくださいました。自宅では、村人全員が集まっていると思えるほどの人だかりの向こうに、主人公の息子の似顔絵が掲げてありました。庭に設けられたパーティー・テーブルには、この村では滅多に口にできないような、肉料理を中心とした豪華な料理がずらりと並び、人々に振る舞われていて、私たちもご相伴に預かりました。しかし、家によってはこの豪華な振る舞いを借金までして行なう方もいると聞き、そこまでせずとも、もう少し質素なお祝いができそうなもの、との疑問もわいてきました。けれどもさらにお話しを伺ってゆくと、実はこの豪華なバースデー・パーティーには子どもに対する親御さんのなみなみならぬ思いが込められていることを知りました。私たちも子どもの誕生日には家族挙げて祝います。しかし、その意味合いがこの貧しい村では相当違うことが分かりました。

『一寸まで生きることができたら5才まで生きる確率が上がる』フィリップの乳児死亡率(二〇一三年報告)は1000人中20人で、生まれても栄養失調などで命を落としてしまいます。この数字はフィリップ全体の平均ですから、貧困にあえぐ地方の村では、この数字よりも多いことでしょう。生後一年、無事にこの子が生き抜いたことがさらにその先へと繋がってゆく。その喜びと感謝がこの豪華な振る舞いに表されているのです。喜びの輪の中に入れていただいた私たちは、このことを知って、生きることの重さと尊さを考えさせられ、ご馳走を食べる手がおもわず止まりました。

世界で一番悲しいことは家族との離別である。特に生後一年を生きるというのはフィリップの人々には金字塔なのである。主イエスはマタイ福音書で「あすのことを思いわずらうな、あすのことは、あす自身が思いわずらうであろう」(6:34)と言われているが、人生は日々の積み重ねだから、今日という日をしっかりと生きなさいというのである。「二日一生」と言ったのは内村鑑三であるが、日々を一生のごとく生きるために、今日を悔いの無い一日にしたいものである。今日生きることができたら明日も生きられるから、今日が大事なのだ。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

